

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	利用者の思いについては、普段の会話や動作、馴染みのもの等関わりの中から希望を聞いたり、感じ取って情報共有している。情報共有ツールとして、C-1-2シートを使用しているが、記入者に偏りがある。	職員全員で取り組むシートである。職員それぞれが視野を広げ、利用者の立場にたって考える力を向上させる。シートに利用者の希望や思いを積極的に職員全員が記入できるようにする。	記入後は回覧にて情報共有しているが、記載内容についてカンファレンスを行い、振り返りを行う。意見交換の中で具体的アプローチを明確にし、利用者主体のケアにつなげる。	3ヶ月
2	10	運営推進会議のご家族の意見書や常設の意見箱の回収率が低い。	ご意見を下さる方に偏りがある。より多くのご家族にご意見を頂けるよう発信していく。	お便りにて、運営推進会議内やご意見箱を設置して常にご意見を頂ける環境である事を改めて発信する。また、普段のご連絡の時に、何かご意見等お伝えしたいことが無いかお声かけをする。	6ヶ月
3	35	防災訓練について事業所でおこなっているが、地域住民との協力体制が不十分である。実際に火災が起こった時に連携できるか不安がある。	災害時の地域住民との連携、協力体制をさらに強固にする。	防災訓練の実施内容をより詳細に、運営推進会議にて地域の方に報告し災害時に具体的にどのような協力を得ることができるのか、明確にする。	6ヶ月
4	2.3	地域行事の参加があまりできていない。(現在コロナ禍で参加できない状況を前提として)	地域交流を積極的に行う。利用者家族の中には交流を断られている方もいるので配慮する。	(コロナ禍で現在実施できな状況を前提に)中学生の職業訓練の受け入れ、地域の夏祭り参加を継続する。草むしりや百歳体操、小学生との交流等、様々な行事に積極的に参加していく。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。